

ISSN 1341-7010

令和 5 年 度

群馬県畜産試験場業務年報

Gunma Prefectural Livestock
Experiment Station

群馬県畜産試験場

(群馬県前橋市富士見町小暮 2425)

令和 5 年 度
群馬県畜産試験場業務年報

目 次

I	総 説	
1	沿 革	1
2	組織機構と所掌業務	2
II	研究業務の概要	
1	研究成果の概要	3
2	令和5年度主要課題	7
	(1) 国庫等助成課題（受託を含む）	7
	(2) 県単新規試験研究課題	7
3	令和6年度試験研究課題の設定	8
	(1) 試験研究課題設定の経過	8
	(2) 群馬県農業技術推進会議・専門部会（畜産）開催内容	9
	(3) 研究課題外部評価会	9
4	研究に係る会議	10
III	研究成果の発表・伝達	
1	書籍・雑誌等による技術解説	12
2	マスコミ発表	12
3	学会発表	12
4	研究成果発表会	13
5	ぐんま農業新技術および技術情報資料	13
	(1) ぐんま農業新技術	13
	(2) 技術情報資料	13
6	フォローアップセミナー	14
7	表彰	14
IV	職員研修	
1	農政部試験研究機関職員研修	15
2	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構依頼研究員	15
3	中央畜産技術研修	15
4	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構短期集合研修	15
5	農林水産技術会議事務局主催研修	15
6	その他研修	15
	(1) 一般研修	15
	(2) 安全管理・技能講習	16
	(3) 技術研修	16
	(4) 場内研修等	17

V	業務実績等	
1	検査実績	1 8
(1)	飼料分析	1 8
(2)	牛受精卵雌雄判別	1 8
2	飼養頭羽数及び配布・売払及び生産状況	1 8
(1)	飼養頭羽数	1 8
(2)	配布・売払及び生産状況	1 8
(3)	市町村別配布状況	1 9
3	種畜名簿	2 0
(1)	繁殖基礎牛	2 0
(2)	優良導入牛	2 1
(3)	人工授精所繁養種雄豚	2 2
VI	附帯業務	
1	講習会等への職員派遣	2 3
(1)	家畜体内受精卵移植講習会（牛）	2 3
(2)	家畜商講習会	2 3
(3)	全国食肉学校講義	2 3
(4)	出前なんでも講座	2 3
(5)	その他の技術指導	2 4
2	会議出席	2 6
3	技術相談・依頼診断及び審査	2 9
4	視察及び見学	2 9
(1)	国内	2 9
(2)	国外	2 9
5	研究生・研修生	2 9
(1)	農業関係試験研究機関技術研修員	2 9
(2)	実務実習生（インターンシップ）	2 9
VII	庶務及び施設整備	
1	職員	3 0
(1)	職員名簿	3 0
(2)	令和4年度末転出職員	3 1
(3)	令和5年度転入職員	3 1
(4)	令和5年度採用職員	3 1
(5)	令和5年度退職者	3 1
2	収入及び決算	3 2
(1)	収入	3 2
(2)	決算	3 3
3	土地及び建物	3 4
4	施設整備及び主要備品	3 4
(1)	施設整備	3 4
(2)	主要備品	3 5
VIII	その他	
1	気象表	3 6

I 総 説

1 沿革

明治	28 年	(1895)	前橋市岩神町に群馬県農事試験場設立。
	31 年	(1898)	農事試験場で家畜の飼育を開始。
	34 年	(1901)	農事試験場を前橋市南町（旧前代田町）に移転。
	38 年	(1905)	農事試験場畜産部発足。
	41 年	(1908)	優良種豚、鶏を導入、農家払い下げを開始。
大正	9 年 4 月	(1920)	農事試験場畜産部の事業を継承し、群馬県種畜場として独立。種牡牛馬の購入貸付業務と試験研究に着手。
	11 年	(1922)	種畜場の移転先として、現在地、勢多郡富士見村大字小暮所在の国有林 77 ヘクタールの払い下げを受け、開墾と施設の建設に着手。
	12 年 11 月	(1923)	主な施設の建設、移転完了し、牛、馬、山羊の飼養、改良増殖、配布並びに技術指導等、種畜場として本格的に事業を開始。
	13 年	(1924)	一方、前橋市岩神町に豚、鶏業務を主とする種畜場分場を設置。
	14 年	(1925)	有畜農業奨励のため、本場に種畜場附属模範農家を設置。
昭和	5 年	(1930)	めん羊に関する業務を開始。
	12 年	(1937)	兎に関する業務を開始。
	19 年 3 月	(1944)	本場に分場業務（豚、鶏）を統合し、名実ともに総合種畜場として内容を充実。
	32 年 9 月	(1957)	附属農家制度を解消し、当該農家は自立。
	37 年 4 月	(1962)	新しい畜産技術の要請にこたえるため、種畜場を畜産試験場と改称し内部組織を庶務課、大家畜課、中家畜課、小家畜課、飼料課、衛生課の 6 課制として畜産に関する試験研究と家畜改良繁殖を主な業務として事業を開始。
	39 年	(1964)	畜産後継者および指導者の養成のため、畜産研修所を設置。
	41 年	(1966)	本館をはじめ試験研究施設の建設、近代的機械器具の導入等をはじめ研究内容を充実。
	45 年 8 月	(1970)	畜産の急速な発展に即応し組織改正を行い、飼養部、環境部、庶務課、酪農肉牛課、養豚課、養鶏課、飼料課、環境課、衛生課の 2 部 7 課制とし、環境課を新設した。
	54 年	(1979)	研究の整備強化と効率化を図るため、総合実験室を建設。
	55 年 4 月	(1980)	事務部が新設され、事務部、飼養部、環境部、庶務課、酪農肉牛課、養豚課、養鶏課、飼料課、環境課、衛生課の 3 部 7 課制となる。
	58 年 4 月	(1983)	農政部 5 専門試験場の組織体制が改編され、畜産試験場も農業総合試験場体制のもとに組織改正され、大家畜部、中小家畜部、酪農課、肉牛課、飼料課、養豚課、養鶏課の 2 部 5 課制となり、環境課が農業総合試験場に統轄され畜産分室となる。
平成	元年 4 月	(1989)	組織改正により受精卵移植課及び吾妻肉牛分場が新設され、大家畜部、中小家畜部、酪農課、肉牛課、飼料課、養豚課、養鶏課の 2 部 6 課 1 分場となる。
	6 年 4 月	(1994)	農業総合試験場体制が改変され群馬県畜産試験場として独立、事務部、大家畜部、小家畜部、環境飼料部、総務課、酪農肉牛課、繁殖技術課、養豚養鶏課、改良技術課環境課、飼料課、吾妻肉牛分場の 4 部 7 課 1 分場となる。
	11 年 10 月	(1999)	畜試再編整備計画により本館・総合実験棟並びに畜舎の建築に着手した。 (2000)本館総合実験棟、養豚研究エリア施設、堆肥舎、乾燥施設完成。(2001)養鶏 研究エリア施設、研修棟、繋留舎完成。(2002)大家畜研究エリアの酪農関係・牛受精卵関係施設完成と、污水处理施設が稼働開始。
	15 年 4 月	(2003)	組織改正により部課制から、総務、地域共同開発、牛飼養技術、豚飼養技術、鶏飼養技術、生物学、自給飼料、畜産環境の 8 グループと吾妻肉牛繁殖センター体制となる。乾草収納庫、底陰舎、肉牛舎、敷料置場、農機具格納庫、給油施設、ふん尿処理実験棟、吾妻肉牛繁殖センターに恒久水源用深井戸完成。
	16 年	(2004)	飼料作物棟、風洞実験棟完成、酪農エリア・ふん尿処理研究エリアの舗装完成。
	17 年 4 月	(2005)	組織改正により、総務、地域共同開発、大家畜研究、中小家畜研究、資源循環研究の 5 グループと吾妻肉牛繁殖センターに改編される。隔離畜舎完成。
	18 年	(2006)	本館エリア、供卵牛舎・受精卵採取棟エリア、肉牛舎エリアの外構完成。中小家畜研究エリア防疫対策構築。
	19 年 4 月	(2007)	組織改正により、地域共同開発グループを廃止して研究調整官を設置し、総務、大

家畜研究、中小家畜研究、資源循環研究の4グループと吾妻肉牛繁殖センターに改編される。格納庫外構完成。

20年4月(2008) 組織改正により、総務、大家畜、中小家畜、資源循環の4係と吾妻肉牛繁殖センターに改編される。村道付け替え、旧大家畜エリア跡地整地終了。

21年5月(2009) 合併により、所在地が前橋市富士見町小暮に変更

26年4月(2014) 組織改正により、総務、飼料環境、酪農、肉牛、養豚、養鶏の6係と吾妻肉牛繁殖センターに改編。

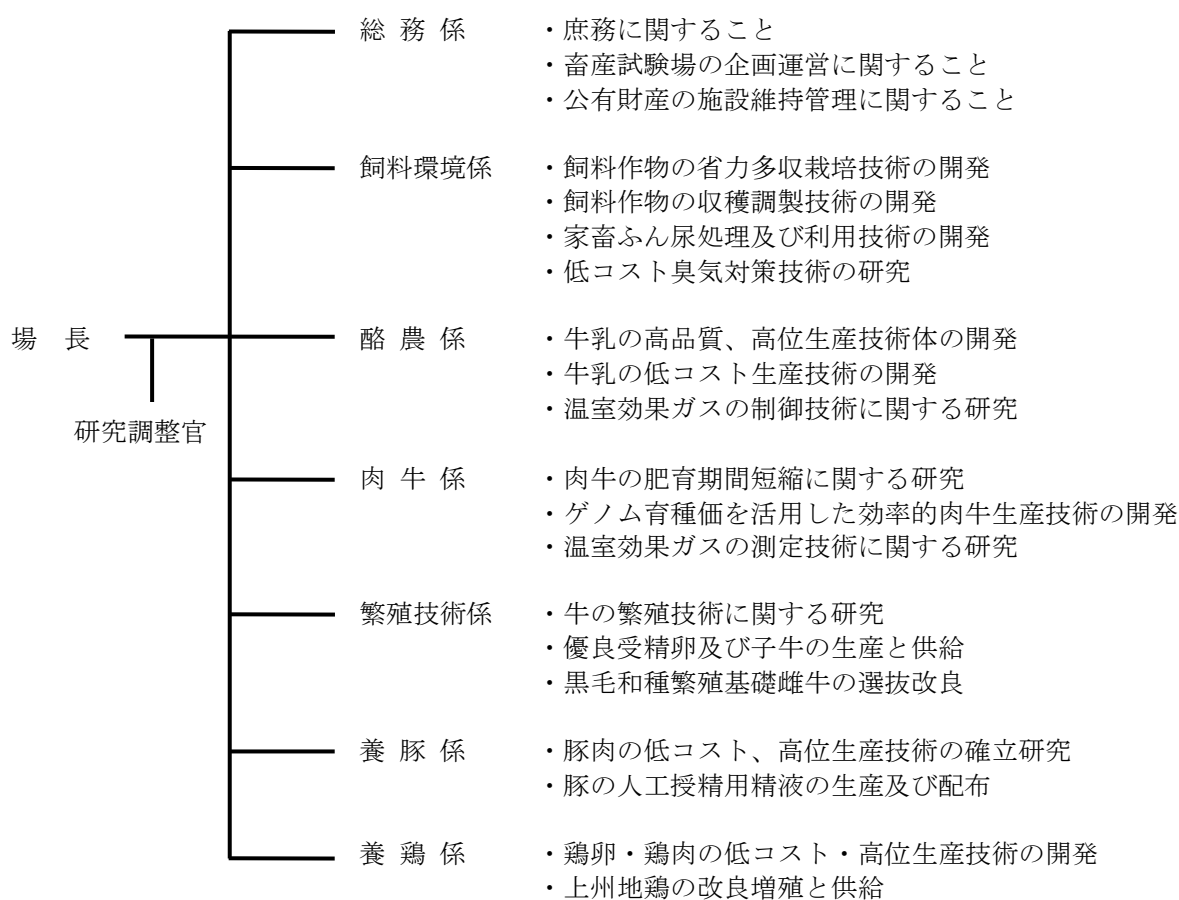
令和3年3月(2021) 搾乳牛舎改修工事完成。

4年2月(2022) 育成牛舎完成。

4年4月(2022) 組織改正により、吾妻肉牛繁殖センターを廃止し、総務、飼料環境、酪農、肉牛、繁殖技術、養豚、養鶏の7係に改編。

4年5月(2022) 黒毛和種繁殖育成牛舎完成。

2 組織機構と所掌業務



所在地

区 分	郵便番号	住 所	電話およびFAX
畜産試験場	371-0103	前橋市富士見町小暮2425	TEL 027-288-2222 FAX 027-288-2243

ホームページ <https://www.pref.gunma.jp> (県庁トップページ)

Eメールアドレス chikushi@pref.gunma.lg.jp (代表アドレス)

Ⅱ 研究業務の概要

1 研究成果の概要

(1) 飼料作物（トウモロコシ）奨励品種決定調査（県単・各年度）

14 品種供試し、5/18 日に播種した。以下、各早晩性ごとに比較する。

極早生 6 品種における乾物収量は、1,507～2,119 kg/10a であり、「TH2154」が最も多収であった。

早生は 2 品種供試し、同収量は「KD502」が 1,717 kg/10a、「34N84」が 1,881 kg/10a であった。中生は 3 品種供試し、同収量は 2,278～2,506 kg/10a であり、「LG30500」が最も多収であった。晩生は 3 品種供試し、「KD777」が最も多収であった。

アワノメイガは昨年より多く発生しており、特に「SL12029」とタラニスで被害が大きかった。また、昨年と同じくコガネムシによる雌穂の食害が多かった。さらに、今年度は全ての品種ですす紋病が確認されるとともに、一部品種で黒穂病も確認された。

試験結果より収量が劣る「SL12029」及び「SH1353」、廃版により「KD777」を供試中止。また、奨励品種は前年度決定の 20 品種で変更はなかった。

なお、生育期間において、旬ごとの平均気温は 6 月下旬以降は平年を上回り、同降水量は 6 月中旬から 9 月上旬までは平年を下回った。

（飼料環境係）

(2) 高タンパク質自給粗飼料の生産・調製技術の開発（県単：令 5～7 年）

群馬県内におけるアルファルファの栽培特性、収量等を明らかにするとともに、収穫時期、調製方法についても検討を行った。

供試品種はケレスとし、播種は春播き（R5.4/24）と秋播き（R5.10/6）とした。収穫期は開花始め期とし、収穫方法はモアコンディショナで刈り取り、反転はせずにそのまま予乾した。ロール調整時には、2 種類の乳酸菌添加剤（ホモ型とヘテロ型）を使用した。雑草繁茂のため、収穫は 1 番草のみとした。

7 月 10 日（77 日）に開花期を迎え、1 番草の草

丈は 92.4 cm、乾物収量は 339kg/10a だった。生草の飼料成分は、日本標準飼料成分と比較して粗脂肪、NFC が低く、粗灰分、NDF、ADF は高かった。サイレージ調整後 3 ヶ月目の飼料成分は、粗灰分はヘテロ型がホモ型よりも高かった。発酵品質は、乳酸の含有量はヘテロ型が高く、酢酸の含有量はホモ型が高かった。V-score はホモ型 79 点に対しヘテロ型 84 点とヘテロ型が品質良好であった。

アルファルファは雑草との競合に弱く、登録のある有効な除草剤が少ないため、圃場全体に雑草が繁茂した。そのため、雑草対策が重要であることが示唆される。

（飼料環境係）

(3) 化成肥料を低減した子実トウモロコシ栽培技術の確立（県単：令 5～7 年）

堆肥中の窒素成分を化学肥料の代替として利用することで、化学肥料を低減した子実トウモロコシの栽培技術を確認するための試験を行った。

供試堆肥は群馬畜試で生産された牛ふん堆肥及び豚・鶏ふん混合堆肥を用いた。試験での堆肥の代替割合は、両堆肥とも 25%及び 50%代替とする計画であったが、牛ふん堆肥について 50%代替では、施肥量が非常に多く現実的でないことから、12.5%及び 25%代替とした。

供試品種は、子実収量の多い早生の 2 品種（P9027 及び LG3457）を選定した。

試験結果から、LG3457 は茎葉割合が多いため、子実用としては適さないことを確認した。子実収量は、堆肥施用において、普通化成肥料と比較しても遜色なかった。

（飼料環境係）

(4) 畜産排水における高分子凝集剤の生分解性物質への転換とその効果検証（県単：令和 5～7 年）

生分解性凝集剤を使用して脱水した汚泥の性状を調査し、現在使用している高分子凝集剤と比較し、その有効性を検討した。なお、高分子凝集剤はポリアクリル系、比較凝集剤としてキトサン由来とポリグルタミン酸由来の 2 種類を用いた。

凝集によるフロック形成は、キトサン由来並びにポリグルタミン酸由来は 5mm 程度のフロックを形成し、添加滴下量による大きさの変化はなかつ

た。ポリアクリル系については5mm から 1.5 cm 程度まで滴下量により大きさに差があった。

凝集剤溶解液の BOD は、キトサン由来がポリアクリル系に対して高くなり、生分解性の差が確認された。ポリグルタミン酸由来は主成分が炭酸カルシウム等であるため、BOD の測定が本試験場機材ではできなかった。

凝集剤で作成した汚泥の窒素無機化量はキトサン由来がポリアクリル系に対して 50 から 100mg/L 程度高く推移した。窒素の無機化量の差は、キトサンの分解のしやすさと、キトサン内に含まれる窒素も影響していると考えられる。

凝集剤別のコスト及び使用量の比較では、浄化槽汚泥処理 1L に対するコストはポリアクリル原料がキトサン原料に比べ低くなったが、使用する量はキトサン由来の凝集剤が少なかった。

(飼料環境係)

(5) 堆肥散布後の土壌分析実施による施肥設計 (県単：令 3～5 年)

堆肥散布後に土壌分析を行い、分析結果から必要とされる施肥量の変化について確認を行った。供試堆肥は乳牛戻し堆肥とし、堆肥施肥量は 10a あたり 0t、0.5t、1t、3t とし、土壌採取は堆肥施肥後 0 日と 7 日経過の 2 回の分析をした。土壌診断の結果、施肥後 0 日時点の堆肥 0t 区ではリン酸、カリ、苦土、石灰の全てで施肥が必要となった。0t 区と比較し 0.5t 区ではリン酸、カリ、石灰等の施肥量が減少し苦土の施肥量が増加した。1t 区ではマグネシウムのみ施肥が必要となった。3t 区ではカリウム、石灰等が過剰になったことから、陽イオンの相対的なバランスを取るために、マグネシウムの施肥量が増加した。施肥後 7 日時点では、0 日時点と比較し土壌中肥料成分の減少が確認された。

堆肥施用後に土壌分析を行うことにより、堆肥中肥料成分が土壌診断結果に反映され、堆肥の不足成分を化学肥料で補うという煩雑な計算が不要となり、施肥量の低減肥につながる事が確認された。また、使用する堆肥の成分割合によっては施用量を多くすると、マグネシウムの施肥量を増加しなければならないことが確認された。

(飼料環境係)

(6) ロボット搾乳施設と連動した精密個体管理システムによる省力管理技術の開発・実証

(県単：令 3～6 年)

ロボット搾乳と精密個体管理システムを活用し、省力管理技術の開発・実証を行う。搾乳時に生乳成分を計測し、疾病の兆候や繁殖に関するホルモン分泌を分析。更にカメラを用いて牛体の脂肪蓄積度合（ボディコンディションスコア：BCS）を測定し、これらのデータを蓄積して検証を実施中である。

(酪農係)

(7) 畜産からの GHG 排出削減のための技術開発 (委託プロ・令 4～8 年)

スニファー法を用いて、慣行試料を給与した当场飼養乳牛のメタン産生量を秋期（10 月）と冬期（11 月）にそれぞれ 46 頭ずつ測定した。また、県内搾乳ロボット導入農場において 70 頭のメタン産生量を調査した。

肉用牛では、個体識別ドア（ドアフィーダ：(株)オリオン社製）で個別給餌している個体において、ガス流路切替器を用いて 20 頭（10 頭×2 回）ガス採取を行った。

また、当场飼養の乳牛で温室効果ガス削減資材を給与し、スニファー法の評価を行った。

(酪農係・肉牛係)

(8) 牛乳房炎発症予防法と抗病性育種の開発事業 (JRA：令 5～7 年)

プロバイオティクス飼料の免疫能向上機能を活用し、乳牛の乳房炎発症と薬剤耐性菌の発生を抑制するとともに、宿主側の抗病性を向上させる飼養管理手法を開発する。

前回事業で枯草菌が乳房炎発症軽減効果を有することを確認できたので、新たな免疫促進剤として選定したビタミン E の効果の確認と、枯草菌との相加効果を見るために、ビタミン E 給与区：4 頭、枯草菌＋ビタミン E 給与区：3 頭を用いて給与試験を行った。

(酪農係)

**(9) 子宮内環境の改善による受胎率の向上
(県単・令3～6年)**

牛の空胎日数は延長しており恒常的に受胎成績の向上が求められている。その要因として子宮内膜の細胞老化によるミトコンドリアの機能低下が考えられる。そこで改善のためにレスベラトロールを投与し子宮内環境を改善することで受胎率の向上が図れるか検証を実施している。

(繁殖技術係)

**(10) 繁殖基礎牛群の育種価を用いた選抜・改良
(県単・各年度)**

アニマルモデルによる繁殖基礎牛の育種価を推定するため、県内等の肥育農家で生産子牛の後代検定を実施した(肥育開始頭数:4年度5頭、5年度4頭)。

肥育終了後に得られた枝肉成績と血縁情報等を基に選抜・改良を行い、令和6年3月末現在、飼養する基礎牛(経産)100頭のうち、43頭の育種価が判明した。

また、平成26年度から全国に先駆け、家畜改良事業団と共同でゲノミック評価を用いた育種改良に取り組んでおり、28年度には全国で初めて高ゲノミック評価の雄を候補種雄牛として払下げを行った。現在までに22頭払下げを行い、これまでに福華鶴、福之鶴、福増鶴が種雄牛として選抜されているが、今年度新たに福勝鶴、千寿剣、の2頭が種雄牛として選抜された。引き続き、美津之桜、鶴重姫、諒仙柳、愛重鶴、美国鶴、幸照鶴、貴隼鶴)が検定受検中である。

(繁殖技術係)

(11) 牛受精卵推進(県単・各年度)

枝肉成績と血縁情報等を基に算出された育種価と、ゲノム情報を基に算出されたゲノミック評価を用いて選抜・改良を行った繁殖基礎牛の中で、特に能力の高い牛から受精卵を生産し、スーパー黒毛和種受精卵104個、黒毛和種受精卵198個の計302個を県内農家に供給した。

(繁殖技術係)

(12) 哺乳ロボットを活用した効率的哺乳管理技術の確立(県単・令5～7年)

哺乳期における発育低下はその後の育成期および肥育期の発育に大きく影響することから、哺乳能力、ミルク濃度等、個体の能力に合った適切な飼養管理が重要である。哺乳能力と遺伝的能力および発育を関連づけたデータ集積はこれまでにないことから、ゲノミック評価を実施し、個体の能力を把握した上でその能力に応じた哺乳方法を確立する。

(肉牛・繁殖技術係)

**(13) 黒毛和種去勢牛への高エネルギー飼料給与による効率的肥育技術の開発
(県単・交付金・令3～7年)**

育成期の発育が低い牛に高エネルギー飼料(脂肪酸カルシウム)を添加給与することにより発育改善を図り、肥育期間の短縮を可能にする効率的な肥育技術を開発する。当场生産の黒毛和種去勢牛10頭を用い、試験開始前にゲノミック評価による遺伝的能力評価を実施し、個体の特徴を把握した上で育成試験及び肥育試験を実施している。

(肉牛係)

(14) 豚の改良推進(県単・各年度)

遺伝的能力評価では、県内種豚生産者から雄候補豚3頭を導入し直接検定を実施した。豚の人工授精推進では、県内外からの導入豚及び場内育成した優良種雄豚16頭を人工授精所に繋養し、県内生産者20戸に精液756本(L208、W176、D372(うち混合304))を配布して種豚および肉豚の改良を図った。

(養豚係)

(15) 群馬県産飼料原料を主体とした豚肉生産に関する研究(県単・令3～5年)

豚は農業産出額の19.4%(令和4年)を占める、本県の個別農畜産物第1位の品目であるが、養豚県群馬をより強くアピールできる豚肉の生産が可能かどうか、県産穀物原料の生産費の調査と県産穀類を用いた肥育試験を通じて明らかにする。

令和5年度は、県産原料を主体とした飼料を設計、製造し、肥育試験を実施した。その結果、県産飼料原料は輸入飼料原料と同等の栄養成分を持ち、肥育豚の発育や肉質に及ぼす影響も少ないが、飼料価格上昇に伴う生産費を生産物価格に転

嫁する必要があることが確認された。

(養豚係)

(16)「動物用食べるワクチン」の開発による感染症対策の強化(委託プロ・令4～7年)

畜産現場での労働者数の低減やワンヘルスの観点から、今後需要の伸びが期待される動物用医薬品・機能性飼料を対象とし、遺伝子組換えカイコの繭を用いた新たな経口ドラッグデリバリーの基盤技術を確立する。

令和5年度は妊娠中の繁殖雌豚(体重150kg)に裁断繭を重量比20%まで添加した飼料を給与しても問題なく採食すること、また、給与後の妊娠、分娩や子豚の発育にも影響がないことを確認した。

(養豚係)

(17) 上州地鶏の改良推進(県単・各年度)

上州地鶏の中ビナを33,800羽(内、初生ヒナ1,200羽)払下げた。上州地鶏の中ビナで供給することで、生産農場の飼育サイクルが短くなり、収益増に寄与できる。また、初生ヒナに比較し温度管理が容易であり、地鶏の普及促進において有効な手段だと考えられた。

(養鶏係)

(18) 日本の鶏卵市場に対応した長期飼育技術の開発(県単・令1～5年)

県内に流通している採卵鶏11銘柄について、505～700日齢の生産性や鶏卵品質など鶏種の能力および特性について調査した。

長期飼育の試験成績をもとに換羽誘導した場合との経済性の比較をした結果、換羽誘導を行うと800日齢以上飼育した場合でも、700日齢までの継続飼育により得られた利益を上回らず、700日

齢まで換羽誘導しない長期飼育の有用性が明らかになった。

(養鶏係)

(19) 鶏の経済能力検定(県単・各年度)

県内に流通している採卵鶏11銘柄について、餌付けから504日間の経済能力を調査した。

飼料価格高騰のため市販の配合飼料により試験を実施した。

産卵率は、85.1～90.7%、平均卵重は60.4～63.5gであり、鶏種による差が見られた。

全体的に卵重が軽く、体重も例年に比較し軽かった。

(養鶏係)

2 令和5年度主要課題

(1) 国庫等助成課題

区 分	予算額(助成額)	備考
畜産からのGHG排出削減のための技術開発	千円 1,950(1,950)	国委託プロジェクト
「動物用食べるワクチン」の開発による感染症対策の強化	1,600(1,600)	国委託プロジェクト

(2) 県単新規試験研究課題

課 題 名	試験期間	担 当
化学肥料を低減した子実トウモロコシ栽培技術の確立	5～7	飼料環境係
哺乳ロボットを活用した効率的哺乳管理技術の開発	5～7	肉牛係・繁殖技術係

3 令和6年度試験研究課題の設定

(1) 試験研究課題設定の経過

時 期	畜産試験場	農業技術推進会議
4 月	- 重点研究（シーズ型）課題化の検討 - 新規研究（シーズ型）課題案の検討	
5 月		ぐんま農業新技術の承認 【本会議】
6 月	新規研究（シーズ型）課題案の決定	
7 月	農業研究要望措置方針の検討	
8 月	新規研究（ニーズ型）課題案の検討	
9 月	- 農業研究課題化検討会 - 試験研究課題策定方針の検討	- 農業研究要望（ニーズ型）措置方針検討 - 新規研究の課題化方針（案）の検討 - 研究重点方針（案）の検討 【専門部会】
10 月	試験研究計画概要（案）の検討	
11 月	研究予算案の策定	- 令和6年度試験研究推進に係る取り組み方針(案)及び基本方針(案)承認 - 令和6年度新規研究課題化方針(案)承認 【本会議】
12 月	試験研究成績検討会	
1 月	ぐんま農業新技術・技術情報資料の検討	
2 月	- 試験研究課題策定方針の決定 - 試験研究計画概要の決定	
3 月	新規予定課題実施計画の検討	- ぐんま農業新技術・技術情報資料の検討 - 令和6年度試験研究計画概要の検討 - 試験研究進行管理表の検討 【専門部会】

(2) 群馬県農業技術推進会議・専門部会（畜産）開催内容

開催日	主 な 協 議 事 項
第1回 5. 9. 14	1 令和5年度試験研究要望事項の措置方針（案）について 2 令和6年度新規研究課題（案）について (1) ぐんまの牛肉「新基準」の確立（6～8） (2) 採卵鶏の長期飼育における能力比較試験（6～10） 3 令和6年度研究重点方針（案）について (1) 畜産試験場研究重点方針 (2) 試験研究の方向と主要研究課題等 4 ぐんま農業新技術の普及・活用状況に係る対応策（案）について 5 実験動物実施規程に基づく実施状況及び実施計画の評価について
第2回 6. 3. 12	1 令和6年度ぐんま農業新技術（案）、技術情報資料（案）について ※ぐんま農業新技術については該当なし。以下、技術情報資料。 (1) 堆肥中の窒素の発現は一律に窒素量は推定できないため、施肥後の土壌分析が有効である (2) 乾乳牛における二条大麦わらの飼料利用 (3) 群馬県産黒毛和種雄牛の特徴について (4) 群馬県産飼料原料を主体とした豚肉生産の可能性 2 令和5年度研究課題進行管理表（案）について 3 令和6年度研究課題一覧（案）について

(3) 研究課題外部評価会

開催日	課 題 名 及 び 評 価 委 員
5. 5. 29	1 化学肥料を低減した子実トウモロコシ栽培技術の確立（事前評価） （外部評価委員） 廣瀬竜郎 高崎健康福祉大学農学部作物学研究室 教授 内野 宙 農研機構畜産研部門 上級研究員 角橋則孝 群馬県畜産協会 主任
5. 6. 29	2 哺乳ロボットを活用した効率的哺乳管理技術の開発（事前評価） （外部評価委員） 櫛引史郎 農研機構畜産研究部門 再雇用職員 石原俊明 みどり市大間々町 乳肉複合経営 萩原紳太郎 赤城酪農業協同組合連合会 獣医師

4 研究に係る会議

会 議 名	開 催	参 集 範 囲	場 所
農林水産省委託プロジェクト研究「畜産からのGHG排出削減のための技術開発」小課題1推進会議(肉牛・乳牛)	5. 5. 11～12	畜産GHG削減コンソーシアム参画機関	Web 開催
農林水産省委託プロジェクト研究「畜産からのGHG排出削減のための技術開発」小課題1現地検討会	5. 6. 5	畜産GHG削減コンソーシアム参画機関	広島県
日本中央競馬会畜産振興事業「牛乳房炎発症予防法と抗病性育種開発事業」推進会議	5. 6. 8	事業参画機関	Web 開催
日本中央競馬会畜産振興事業「牛乳房炎発症予防法と抗病性育種開発事業」キックオフ会議	5. 6. 20	事業参画機関	web 開催
豚の新育種技術に関する研究会	5. 7. 6～7	農水省、東北大学、(国研)農研機構、(独)家畜改良センター、関係都道府県、日本養豚協会、民間豚育種会社等	つくば市
農林水産省委託プロジェクト研究「畜産からのGHG排出削減のための技術開発」意見交換会(乳牛)	5. 7. 12	畜産GHG削減コンソーシアム参画機関	web 開催
農林水産省委託プロジェクト研究「畜産からのGHG排出削減のための技術開発」意見交換会(肉牛)	5. 7. 21	畜産GHG削減コンソーシアム参画機関	web 開催
関東東山畜産関係場所長会本会議	5. 9. 22	関東東山畜産関係試験研究機関	東京都港区
農林水産省委託プロジェクト研究「『動物用食べるワクチン』の開発による感染症対策の強化」キックオフ会議	5. 10. 30	経口ワクチン開発コンソーシアム参画機関	web 会議
農林水産省委託プロジェクト研究「畜産からのGHG排出削減のための技術開発」ガス解析講習会	5. 10. 31	畜産GHG削減コンソーシアム参画機関	茨城県
関東東山畜産関係場所長会分野別担当者会議(環境)	5. 10. 31～12. 22	関係各都県、畜産研究部門	書面開催
戦略的イノベーションプログラム(SIP)第3期会議	5. 11. 6	SIP コンソーシアム参画機関	つくば市
関東東山畜産関係場所長会企画担当者会議	5. 11. 28	関係各都県、畜産研究部門	東京都港区

農林水産省委託プロジェクト研究「畜産からのGHG排出削減のための技術開発」小課題1成績検討会	5. 12. 7	畜産GHG削減コンソーシアム参画機関	web 開催
関東東山畜産関係場所長会分野別担当者会議（飼料作）	5. 12. 8	関係各都県、畜産研究部門	書面開催
関東東山畜産関係場所長会分野別担当者会議（養豚）	5. 12. 18	関係各都県	甲府市
農林水産省委託プロジェクト研究「畜産からのGHG排出削減のための技術開発」全体会議	6. 1. 15	畜産GHG削減コンソーシアム参画機関	東京都
日本中央競馬会畜産振興事業「牛乳房炎発症予防法と抗病性育種開発事業」担当者会議	6. 2. 28	事業参画機関	web 開催
関東東山畜産関係場所長会分野別担当者会議（酪農）	6. 3. 14	関係各都県、畜産研究部門	書面開催
日本中央競馬会畜産振興事業「牛乳房炎発症予防法と抗病性育種開発事業」全体会議	6. 3. 18	事業参画機関	web 開催

Ⅲ 研究成果の発表・伝達

1 書籍・雑誌等による技術解説

部 門	著者名等	課 題 名	雑 誌 名 等
乳牛	都丸 友久	オオムギSGS給与のポイント	Dairy Japan 2023年5月号
養鶏	後藤 美津夫	採卵鶏の700日齢飼育による産卵個数500個生産技術	馬県基金協会だより 令和5年7月 第87号

2 マスコミ発表

部 門	タ イ ト ル	マスコミ名	日 付
繁殖	子牛の競り市で過去最高の576万7000円	上毛新聞	5. 7. 8
繁殖	群馬 雌子牛に576万円	日本経済新聞	5. 7. 10
繁殖	群馬県畜産試験場の雌子牛、セリ価格過去最高576万円	日本農業新聞	5. 7. 11
繁殖	試験場生まれの牛576万円	讀賣新聞	5. 7. 14
繁殖	育種価トップ級	日本農業新聞	5. 8. 9
繁殖	県畜産試験場「福勝鶴」県産4頭目の種雄牛	上毛新聞	5. 8. 17
繁殖	データで読む地域再生 群馬は雌子牛が最高価格	日本経済新聞	5. 8. 18
繁殖	優秀「種牛」ゲノムで見極め 群馬県取り組み	讀賣新聞	5. 8. 28
繁殖	種雄牛「千寿剣」選抜	日本農業新聞	6. 2. 7
肉牛	黒毛和種、26ヵ月齢出荷で肉質確保して飼料費・給与量を抑制	開拓情報	6. 2. 15
繁殖	種雄牛に県産「千寿剣」県畜産試験場	上毛新聞	6. 2. 18
繁殖	群馬県畜産試験場と県内農家の生産牛が「種雄牛」に	日本経済新聞	6. 2. 19

3 学会発表

氏名	タ イ ト ル	学会名	日 付
加藤 聡	群馬県におけるゲノミック育種価を用いた繁殖雌牛の改良について	日本胚移植技術研究会 シンポジウム	5. 10. 26
六本木梨果	黒毛和種における過剰排卵誘起処理の簡易化	日本胚移植技術研究会	5. 10. 27

4 研究成果発表会

期日：R6.2.7

場所：群馬会館

発表者名	演 題 名
鹿沼 由香理	第12回全国和牛能力共進会第8区（去勢肥育牛）出品対策
都丸 友久	乳牛における低利用県産粗飼料の活用について
下田 歩夢	畜産試験場における黒毛和種産子の在胎期間と生時体重について
青木 寛道	畜産試験場におけるゲノミック評価を活用した黒毛和種の改良について
六本木 梨果	黒毛和種における過剰排卵誘起処理の簡易化について
今西 耕平	サイレージ用トウモロコシにおける子実利用向け適品種の検討について
吉田 健人	縦型コンポストから排出される臭気削減を目的とした熱交換器の効果について
藤澤 望	ビン培養試験における土壌中リン酸マグネシウムアンモニウム（MAP）量の動態について
藤澤 望	堆肥散布後の土壌分析に基づく施肥設計について
青木 圭	群馬県産飼料原料を主体とした豚肉生産について
後藤 美津夫	採卵鶏における換羽誘導（休産）しない長期飼育の有用性について

5 ぐんま農業新技術および技術情報資料(令和6年度農業技術推進会議本会議提出課題)

(1) ぐんま農業新技術

技 術 名	担当係

(2) 技術情報資料

技 術 名	担当係
・堆肥中の窒素の発現は一律に窒素量は推定できないため、施肥後の土壌分析が有効である	飼料環境係
・乾乳牛における二条大麦わらの飼料利用	酪農係
・群馬県産黒毛和種種雄牛の特徴について	繁殖技術係
・群馬県産飼料原料を主体とした豚肉生産の可能性	養豚係

6 フォローアップセミナー

技 術 名	実施場所 (対象者)	開催期日	参加者数

7 表彰

表 彰 名	受賞者名	受賞内容	主催者

IV 職 員 研 修

1 農政部試験研究機関職員研修

研 修 名	講 師 等	参加人員	研修会場	期 日

2 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構依頼研究員

研修者名	研 修 会 名	会 場	期 間

3 中央畜産技術研修

研修者名	研 修 会 名	会 場	期 間
宮澤 浩太	畜産統計処理	中央畜産研修施設	6. 1. 15～1. 19

4 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構短期集合研修

研修者名	研 修 会 名	会 場	期 間

5 農林水産技術会議事務局主催研修

研修者名	研 修 会 名	会 場	期 間
宮澤 浩太	農林水産関係若手研究者研修	農林水産省	5. 9. 28～9. 29

6 その他研修

(1) 一般研修

研修者名	研 修 会 名	会 場	期 間
今西 耕平	新規採用職員研修	公社総合ビル等	5. 4月～9月(16日間)
吉田 健人	〃	〃	〃
長島 妃奈	〃	〃	〃
宮澤 浩太	ショート動画の作り方講座	県庁	5. 6. 2
都丸 友久	キャリアアップ研修	公社総合ビル	5. 10. 16、11. 15
富沢 大輝	採用後3年目研修	公社総合ビル	6. 1. 10・18

(2) 安全管理・技能講習

研修者名	研 修 会 名	会 場	期 間
今西 耕平	大型トラクター操作技能研修	農林大学校	5. 7. 21～28
鹿沼 由香理	フォークリフト運転技能講習	PCT 群馬教習所	5. 10. 10～11
富沢 大輝	フォークリフト運転技能講習	PCT 群馬教習所	5. 11. 6～ 7
藤澤 望	フォークリフト運転技能講習	PCT 群馬教習所	5. 11. 7
長島 妃奈	オペレーター業務演習	農林大学校	5. 12. 13
下田 歩夢	大型トラクター基礎（けん引）研修	農林大学校	6. 2. 27～3. 8
吉田 健人	フォークリフト運転技能講習	コマツ教習所群馬センタ	6. 3. 29

(3) 技術研修

研修者名	研 修 会 名	会 場	期 間
椿 由江・青木寛道・ 鹿沼由香理・長島妃奈	令和5年度全国和牛登録協会東部地区審査研究会	渋川家畜市場	5. 5. 19
椿 由江・鹿沼由香理 ・長島妃奈	第476回月例研究会	Web	5. 5. 29
湯浅泰子	群馬県食肉衛生研所業績発表会	食肉衛生検査所	5. 6. 5
椿 由江・鹿沼由香理・ 長島妃奈	令和5年度ぐんまの和牛研修会	群馬県地域防 災センター	5. 6. 21
加藤 聡	群馬県家畜人工授精師協会研修会	JA ビル	5. 6. 28
長島妃奈	令和5年度新技術研修（畜産）	会場	5. 7. 4
鹿沼由香理・長島妃奈	第13回全国和牛能力共進会に向けた技術講習会	渋川家畜市場	5. 7. 26
青木 圭・湯浅泰子 ・宮澤浩太	第477回月例研究会	Web	5. 7. 26
都丸 友久	中央審査研究会	北海道	5. 9. 20～22
都丸 友久	北海道総合畜産共進会乳用牛部門	北海道	5. 9. 23～24
吉田健人	令和5年度嗅覚測定法研修会	県衛環研	5. 10. 23
繁殖技術係員	ET実務者ネットワーク研修会	県庁	5. 10. 25～26
繁殖技術係員	第7回日本胚移植技術研究会群馬県大会	群馬会館	5. 10. 26～27
青木圭・佐藤勝 ・深津徳人・宮澤浩太	登録飼養衛生管理者による豚熱ワクチン接種の ための研修	前橋合同庁舎	5. 11. 2
吉田健人	令和5年度畜産環境対策技術研修会	Web	5. 11. 7～ 9
下田歩夢	体外受精技術研修	東京農業大学	5. 11. 17～21
清水 養一・櫛渕 隆 之・都丸 友久	関東東山畜産関係場所長会ブロック研修	東京都・Web	5. 11. 30
清水養一・青木 圭	山羊登録・審査研修会	会場	5. 12. 19

研修者名	研 修 会 名	会 場	期 間
鹿沼由香理・下田歩夢	和牛登録員研修会	渋川家畜市場	5. 12. 22
都丸友久・諏訪 久仁子	第 480 回月例研究会	Web	6. 1. 17
小見邦雄	(一社) 日本養豚協会群馬県種豚登録講習会	J A ビル	6. 1. 19
鹿沼由香理・長島妃奈	令和 5 年度第 3 回東京都畜産技術連盟研修会	Web	6. 1. 25
鹿沼由香理・長島妃奈	ウシ肉質超音波画像診断研修会	宮崎県	6. 2. 1～2
六本木梨果 下田歩夢	第 52 回家畜人工授精師優良技術発表全国大会	千代田区	6. 2. 15
小見邦雄	農業共済組合家畜飼養管理講習会	農業共済組合	6. 2. 19
青木圭・宮澤浩太 ・小見邦雄	養豚協会養豚基礎セミナー	J A ビル	6. 2. 29
肉牛・繁殖技術係員	肉用牛合同研修会	JA ビル	6. 3. 6
青木 圭・宮澤浩太	第 120 回日本養豚学会大会	Web	6. 3. 14～15
都丸 友久	G H G ガス解析講習会	Web	6. 3. 15
吉田健人・藤澤望	令和 5 年度畜産環境研修会	県庁	6. 3. 15

(4) 場内研修等

出席者数	研 修 会 名	会 場	期 間
20	研究倫理等に係る研修会	研 修 棟	5. 7. 14
20	会計事務研修会	研 修 棟	5. 7. 14
17	特定家畜伝染病対応初動防疫演習	研修生室、備蓄庫	5. 11. 15

V 業 務 実 績 等

1 検査実績

(1) 飼料分析

依頼月	飼料の名称	検体数	分 析 項 目		
			数	成 分	手数料収入 (円)

(2) 牛受精卵雌雄判別

該当なし

2 飼養頭羽数及び配布・売払及び生産状況

(1) 飼養頭羽数 (R6.3.31 現在)

畜 種	試験畜	子 畜	計	畜 種	試験畜	種畜 (雄・雌)	計
乳用牛	69 頭	54 頭	123 頭	豚	94 頭	21 頭 (13・8)	115 頭
肉用牛	26	0	26	鶏	1,103 羽	2,128 羽 (235・1,893)	
繁殖雌牛	99	47	146				3,231 羽

(2) 配布・売払及び生産状況

項 目	配布・売払数量	売払額 (千円)	項 目	生 産 量	売払額 (千円)
【生産物】					
牛 乳	531,325 kg	66,795	牧草ロールバールサイレージ		—
牛受精卵 (乳牛)	15 個	544	(乾物)	152.5 t	—
〃 (肉牛・一般)	198 個	4,576			—
〃 (肉牛・スーパー)	104 個	6,534	トウモロコシサイレージ		—
スモール (ホルホ、F1)	1 頭	515	(現物)	452 t	—
黒毛和種子牛	58 頭	40,744	(うち地下式サイロ 264 t)		
ホルスタイン初妊牛	0 頭	0	(うちロールバール 188 t)		
黒毛和種初妊牛	0 頭	0			
種 子 豚	0 頭	0			
肉 豚	33 頭	1,378			
豚 精 液	756 本	1,496			
鶏 卵 食卵	492,720 個	7,192			
(うち特殊卵	5,823 個)	189			
ひ な	35,000 羽	14,326			
【物品】			【不要物品】		
試験牛 (乳牛廃用牛)	18 頭	5,302			
試験牛 (和牛・肥育)	14 頭	14,627			
試験牛					
(和牛廃用牛、妊娠牛)	17 頭	5,543			
試験豚 (肉豚)	29 頭	1,263			
試験豚 (繁殖)	4 頭	108			

(3) 市町村別配布状況

市町村名		受精卵(和牛)			受精卵 (乳牛)	種子豚	豚精液	鶏 雛	黒毛和種 子牛
		一般	スーパー	小計					
前橋市		64	26	90	9		405		9
高崎市		42	3	45			49		1
桐生市		3	1	4			8		
伊勢崎市		11	4	15	3		24	35,000	2
太田市		2	18	20			92		10
沼田市			7	7					
館林市		26		26					
渋川市		10	5	15			78		3
藤岡市		10	4	14			16		
富岡市			2	2			54		1
みどり市		6	4	10					
安中市		2	3	5	2				
北群馬郡	吉岡町								3
	榛東村								
多野郡	上野村								
	神流町								
甘楽郡	下仁田町								
	甘楽町								
	南牧村						26		
吾妻郡	中之条町								
	東吾妻町		3	3					
	長野原町	11	3	14					
	草津町								
	嬭恋村		9	9					
	高山村								
利根郡	みなかみ町		3	3	1				
	片品村								
	川場村								
	昭和村	11	5	16					10
佐波郡	玉村町		4	4			4		3
邑楽郡	板倉町								
	明和村								
	千代田町								
	大泉町								
	邑楽町								
小計	県内	198	104	302	15	0	756	35,000	42
県外	青森県								2
	山形県								2
	栃木県								1
	茨城県								
	埼玉県								2
	神奈川県								
	新潟県								
	長野県								1
	三重県								2
	奈良県								
	広島県								
	岡山県								
	鹿児島県								
総計		198	104	302	15	0	756	35,000	52

3 種畜名簿

(1) 畜産試験場繁殖基礎牛

(育種価のうち枝肉重量と脂肪交雑がB以上で、どちらかがA以上の黒毛和種雌牛)

名 号	得点	生年月日 登録番号	血 統			2024年3月 育種価	産地
			父	母の父	母の祖父		
あつだ241 (241)	82.4	H22.11.19 黒原 1567465	平茂晴	平茂勝	康福3	ACCCDA	長崎県
あつだ243 (243)	82.4	H23.8.18 黒原 1569395	忠富士	福之国	安平	ABHCBA	宮崎県
あつだ253 (253)	81.1	H26.9.23 黒原 1681869	華春福	安福久	勝忠平	HHHCHH	鹿児島県
あつだ255 (255)	81.3	H26.10.20 黒原 1673813	華春福	安福久	平茂勝	AHAHHB	鹿児島県
あつだ258 (258)	81.2	H27.8.22 黒原 1710130	百合白清2	第1花国	平茂勝	HBHCCB	鳥取県
あつだ263 (263)	81.8	H29.7.5 黒 2600349	白鵬85の3	幸紀雄	安福久	BHHAHH	鳥取県
あつだ264 (264)	81.3	H30.7.30 黒原 1744420	百合白清2	安福久	金幸	AAHCAB	鳥取県
あつだ265 (265)	80.3	H29.7.16 黒 2566097	白鵬85の3	百合茂	飛驒白清	HHHCAH	鳥取県
あつだ21881 (313)	81.1	H21.10.29 黒原 1525062	勝忠平	福 桜	糸 秀	HAHCAA	自家産
あつだ357 (357)	80.5	H25.9.3 黒 2468396	百合茂	第1花国	安 平	HAHDBH	〃
あつだ367 (367)	80.7	H26.6.10 黒 2506656	芳之国	安茂勝	金幸	ABHDCA	〃
あつだ374 (374)	80.5	H27.2.28 黒原 1686675	隆之国	安福久	平茂勝	AHHBHH	〃
あつだ394 (394)	82.2	H28.12.28 黒原 1744416	美津照重	百合茂	第1花国	AAHBAH	〃
あつだ396 (396)	80.4	H29.2.21 黒 2590042	美津照重	平茂晴	平茂勝	BADCBH	〃
あつだ397 (397)	80.7	H29.3.14 黒 2590042	諒太郎	美国桜	百合茂	AHBBHH	〃
あつだ398 (398)	82.0	H29.2.21 黒原 1744417	美津百合	忠富士	福桜	BCAHBA	〃
あつだ506 (506)	80.5	H29.2.21 黒 2600352	芳之国	安福久	平茂勝	BABCBH	〃
あつだ524 (524)	81.3	H29.2.21 黒 1808169	福之姫	勝忠平	福桜	HHHCHH	〃
あつだ525 (525)	81.2	H29.2.21 黒原 1820429	金太郎	安福久	第1花国	HBABBA	〃

注:育種価は左から枝肉重量, ロース芯面積, ばらの厚さ, 皮下脂肪の厚さ, 歩留まり基準値, 脂肪交雑の6形質の相対評価を示す。H:上位 1/10 以内、A:上位 1/4 以内、B:上位 1/2 以内、C:下位 1/2 以内、D:下位 1/4 以内。

(2) 優良導入牛（令和２年度以降導入牛）

名 号	得点	生年月日	血 統			導入年度 (平成)	産地
		登録番号	父	母の父	母の祖父		
あつだ２７０	80.0	R1.7.24 黒 2690288	満天白清	美穂国	日向国	R 2	宮崎県
あつだ２７１	80.0	R1.7.29 黒 2690289	満天白清	百合茂	安福久	〃	〃
あつだ２７２	80.3	R1.8.8 黒 2690290	満天白清	忠富士	福之国	〃	〃
あつだ２７３	81.1	R1.8.25 黒原 1808170	満天白清	美穂国	忠富士	〃	〃
ひな１の１	82.0	R.2.2.2 黒原 1872468	百合白清 2	金太郎 3	安福久	R 5	群馬県
あつだ２７４	81.1	R3.2.7 黒原 1874993	若百合	華春福	安福久	R 3	鹿児島県
あつだ２７５	80.5	R3.3.10 黒 2781017	若百合	喜亀忠	安福久	〃	〃
あつだ２７６	81.7	R3.3.17 黒原 1874992	若百合	華春福	安福久	〃	〃
あつだ２７７	80.6	R3.2.7 黒 2781016	若百合	百合白清 2	美津照重	〃	群馬県
あつだ２７８	80.9	R4.1.19 黒 2826287	茂福久	諒太郎	百合茂	R 4	宮城県
あつだ２７９	81.3	R4.1.23 黒原 1905799	茂福久	美国桜	平茂勝	〃	〃
あつだ２８０	80.5	R4.1.24 黒 2826289	茂福久	百合茂	安福久	〃	〃
あつだ２８１		R4.7.28 申請中	二刀流	耕富士	秀菊安	R 5	宮崎県
あつだ２８２		R4.8.9 申請中	二刀流	耕富士	安福久	〃	〃
あつだ２８３		R4.8.25 申請中	二刀流	耕富士	美国桜	〃	〃
あつだ２８４		R4.9.9 申請中	二刀流	美穂国	忠富士	〃	〃
あつだ２８５		R4.10.26 申請中	貴隼桜	福之姫	安福久	〃	群馬県
あつだ２８６		R5.1.13 申請中	北美津久	勝忠平	安福久	〃	〃
あつだ２８７		R4.5.15 申請中	北美津久	百合白清 2	安福久	〃	〃

(3) 人工授精所繫養種雄豚（5年度供用）

品種	名 号 (☆は輸入豚)	生年月日 産 地	種豚 No	血 統 { 父 母	産 肉 能 力 検 定 成 績				検定 方法	乳頭 右：左	特徴	名称
					105kg 到達日齢	一日平均 増体重(g)	胸断面面積 (cm ²)	背脂肪厚 (cm)				
ラン ド レ ー ス 種	フォーツム シムコ オージマ 1 0220	31. 2. 19 群馬	LL10- A000456	フォーツム ベリンゲン オージマ 1 0357 シムコ ハーミテージ イバボク 17 1 3253	167	893	29. 3	2. 1	直接	7 : 8	繁殖	フォーツム 220
	ハート ファーリア ケンマ 5 0012	2. 4. 7 当場	LL10- A000526	ハート イズミ ケンマ 4 0229 ファーリア ハート ケンマ 2 0343	149	867	31. 1	2. 1	直接	8 : 8	繁殖	ハート 012
	ルーク ハーミテージ イバボク 20 1 2568	3. 2. 16 茨城	LL08- A002582	ルーク ハーミテージ イバボク 19 1 2576 ルーク ハーミテージ イバボク 19 1 3643	—	—	—	—	—	7 : 7	繁殖 肢蹄	ルーク 568
	フォーツム ルーク オージマ 3 0504	3. 10. 23 群馬	LL10- A000484	フォーツム シムコ オージマ 3 0311 ルーク ハーミテージ イバボク 19 1 3253	—	—	—	—	—	8 : 8	繁殖	フォーツム 504
	ルーク ハーミテージ イバボク 22 1 2243	5. 2. 27 茨城	LL08- A003352	ルーク ハーミテージ イバボク 21 1 2036 ハーミテージ サキ イバボク 21 1 3177	—	—	—	—	—	7 : 8	繁殖	ルーク 243
	ハーミテージ ルーク イバボク 22 1 2262	5. 3. 1 茨城	LL08- 003353	ハーミテージ サキ イバボク 21 1 2183 ルーク シムコ イバボク 21 1 3191	—	—	—	—	—	7 : 7	繁殖	ハーミテージ 262
	ハート フォーツム ケンマ 1 0006	5. 4. 7 群馬	LL08- A003353	ハート ファーリア ケンマ 5 0012 フォーツム ルーク オージマ 3 0500	128	1063	31. 3	1. 7	直接	7 : 7	繁殖 発育	ハート 006
大 ヨ ー ク シ ャ ー 種	トンホルム ウルフ ケンマ 5 0558	2. 9. 21 当場	WW10- A000501	トンホルム ウルフ イテ 1 0026 ウルフ ソルバックカート ケンマ 2 0571	149	958	38. 4	1. 5	直接	7 : 7	中軀	トンホルム 558
	ビツク ヘーク アイヅ 3 045-08	2. 6. 15 福島	WW07-A 000909	ビツク アロン アイヅ 5 003-03 ヘーク アルフレット アイヅ 5 052-04	—	—	—	—	—	7 : 7	繁殖 肢蹄	ビツク 08
	チタン グローバル トチキホシ 3 043-02	3. 1. 12 栃木	WW09-A 001066	チタン サターン トチキホシ 3 060-01 グローバル イロン アイヅ 8 090-04	—	—	—	—	—	7 : 7	繁殖	チタン 02
	ビツク グローバル トチキホシ 3 126-03	4. 8. 11 栃木	WW09- A001072	ビツク アロン アイヅ 5 003-06 グローバル サンプ アイヅ 6 036-01	—	—	—	—	—	6 : 6	肢蹄	ビツク 03
	ユーロン ソルバックカート イテ 5 0016	5. 2. 5 群馬	WW10- A000349	ユーロン ミヤボク イバボク 19 1 6014 ソルバックカート イテ 2 0031	144	1136	28. 9	1. 9	直接	8 : 8	繁殖	ユーロン 016
デ ユ ロ ッ ク 種	ユメサクラエース ユメサクラ オージマ 10 0318	2. 1. 10 群馬	DD10- A000550	ユメサクラエース D ミヤボク 15 1 8770 ユメサクラ D ミヤボク 15 2 5044	—	—	—	—	—	7 : 6	発育 肉質	エース 318
	サンボ ユメサクラ イテ 5 0055	3. 9. 15 群馬	DD10- A001358	サンボ リアル タケタ 19 0042 サンボ ユメサクラ トチキホシ 1 147-07	—	—	—	—	—	6 : 6	発育	サンボ 055
	ユメサクラエース ユメサクラ オージマ 14 0497	3. 10. 2 群馬	DD10-A 001178	ユメサクラエース バイク ケンマ 3 0049 ユメサクラ D ミヤボク 15 2 5044	—	—	—	—	—	7 : 7	肉質	エース 497
	トライフェクタ ユメサクラ トチキホシ 3 127-02	4. 8. 13 栃木	DD09- A001889	トライフェクタ ユメサクラ トチキホシ 1 123-07 ユメサクラ D ミヤボク 20 3 5261	—	—	—	—	—	6 : 6	肉質	エース 497

VI 附 帯 業 務

1 講習会等への職員派遣

(1) 家畜体内受精卵移植講習会

開催期間 講習：5.6.12 ～ 7.3 修業試験：5.7.5 ～6

部 門	受講者数	科 目 お よ び 講 師
牛	9 名 (合格者 9 名)	学科 ・ 体内受精卵移植概論：六本木 梨果 ・ 受精卵の生理及び形態：六本木 梨果、加藤聡 ・ 体内受精卵の処理及び保存：加藤聡、鹿沼由香里 ・ 種付けの理論：加藤 聡 ・ 受精卵の移植：加藤聡 実習 ・ 体内受精卵の処理及び保存：加藤聡、六本木梨果 ・ 受精卵の移植：加藤聡、六本木 梨果

(2) 家畜商講習会

受講者数	科 目 お よ び 講 師

(3) 全国食肉学校講義

科 目	講義数	受講者数	講 師	期 間
家畜生産(豚・牛・鶏)、 品種および生産体系	3 時限	33 名	鹿沼 由香理	5. 4. 11
			宮澤 浩太	5. 5. 24
			後藤 美津夫	5. 5. 26

(4) 出前なんでも講座

タイトル名	人 数	会 場	講 師 名	期 日
牛乳の話	107 名	玉村中央小学校	櫛渕 隆之	5. 6. 8
〃	20 名	安中市文化センター	〃	5. 6. 19

(5) その他の技術指導

部 門	研修会・講習会等名称	参加 人員 (名)	主 催	期 間	場 所
酪 農	学校農業クラブ連盟家畜審査講習会	42	県学校農業クラブ連盟	5. 5. 16	当 場
	学校農業クラブ連盟家畜審査競技会	42	県学校農業クラブ連盟	5. 6. 13	当 場
	普及指導員研修会	8	技術支援課	5. 7. 4	当 場
	新任普及指導員研修	3	技術支援課	5. 8. 4	当 場
	群馬西部牛共進会	20	群馬西部牛共進会	5. 9. 19	西部地域
	第 27 回群馬県畜産共進会（乳牛の部）	59	群馬県畜産協会	5. 10. 20	当 場
	東京農大視察研修	40	東京農大	5. 11. 16	当 場
	第50回群馬県ブラックアンドホワイトショウ	60	群馬県乳牛改良協会	6. 3. 27	渋川家畜市場
肉 牛	群馬県学校農業クラブ連盟家畜審査講習会	67	群馬県学校農業クラブ連盟	5. 5. 16	当 場
	群馬県学校農業クラブ連盟家畜審査競技会	67	群馬県学校農業クラブ連盟	5. 6. 13	当 場
	普及指導員研修会	9	技術支援課	5. 7. 4	当 場
	「おうみ」和牛繁殖協議会	30	「おうみ」和牛繁殖協議会	5. 7. 25	滋賀県
	滋賀県畜産技術振興センター担当者向け技術研修会	8	滋賀県畜産技術振興センター	5. 7. 26	滋賀県
	県畜産共進会東部地域予選会（繁殖和牛の部）	23	東部地域予選会実行委員会	5. 9. 11	東部地域
	第 51 回群馬西部共進会・第 71 回高崎市畜産共進会（繁殖和牛の部）	18	西部家畜共進会・高崎市	5. 9. 21 ～22	西部地域
	第 64 回関東肉牛枝肉共進会	20	関東肥育牛振興協会	5. 10. 6	東京都
	第 27 回群馬県畜産共進会（繁殖和牛の部）	57	畜産協会	5. 10. 16	当 場
	第 73 回群馬県家畜商協肉牛枝肉共進会	88	群馬県家畜商商業協同組合	5. 11. 20	玉村町
	第 16 回群馬県産上州和牛枝肉共進会	34	群馬県 JA 肉牛肥育部連絡協議会	5. 12. 1	玉村町
	第 31 回群馬県枝肉共励会（肉牛の部）ぐんまふれあいミートフェスタ	119	群馬県食肉品質向上対策協議会	5. 12. 4	玉村町
	第 62 回上州和牛・上州牛枝肉展示会	100	群馬県食肉卸売市場	5. 12. 11	玉村町
	第 29 回肉牛枝肉共進会	101	群馬県 JA 肉牛肥育部連絡協議会	5. 12. 18	玉村町
養 豚	普及指導員研修会	8	技術支援課	5. 7. 4	当 場
山 羊	第 27 回群馬県畜産共進会（山羊の部）	81	群馬県畜産協会	5. 8. 25	渋川市
養 鶏	普及指導員研修会	8	技術支援課	5. 7. 4	当 場
養 蜂	第 27 回蜂蜜品質向上共励会	50	群馬県養蜂協会	5. 10. 18	県 庁
飼料作物 環 境	普及指導員研修会	8	技術支援課	5. 7. 4	当 場
	浄化槽管理技術情報研修会	11	畜産課	5. 7. 21	当 場
繁 殖	群馬東部和牛改良組合研修会	11	群馬東部和牛改良組合	5. 5. 24	みどり市
	普及指導員研修会	9	技術支援課	5. 7. 4	当 場
	「おうみ」和牛繁殖協議会	30	「おうみ」和牛繁殖協議会	5. 7. 25	滋賀県
	滋賀県畜産技術振興センター担当者向け技術研修会	8	滋賀県畜産技術振興センター	5. 7. 26	滋賀県
	JA しおのや視察研修会	15	JA しおのや	5. 8. 23	当 場
	家畜改良事業団 和牛講演会	320	LIAJ 盛岡種雄牛センター	5. 9. 27	盛岡市
	JA かみつが視察研修会	18	JA かみつが	5. 11. 8	当 場
	（株）群馬県食肉卸売市場買受人組合研修会	28	（株）群馬県食肉卸売市場買受人組合	5. 11. 18	渋川市

部 門	研修会・講習会等名称	参加 人員 (名)	主 催	期 間	場 所
繁 殖	家畜改良事業団 和牛改良講演会	180	LIAJ 岡山種雄牛センター	5. 11. 27	津山市
	群馬県畜産技術連盟研修会	53	群馬県畜産技術連盟	6. 1. 22	JA ビル
	JA 佐波伊勢崎研修会	7	JA 佐波伊勢崎青年部	6. 1. 26	当场
	岩手県畜産協会視察研修会	7	岩手県畜産協会	6. 1. 30	当场
	ゲノミック評価技術等普及・啓発セミナー	80	(公) 畜産技術協会	6. 2. 13	山形県
	JA 前橋市牛改良組合研修会	15	JA 前橋市牛改良組合研修会	6. 2. 21	当场
	宮崎市畜産振興連合会研修会	23	宮崎市畜産振興連合会	6. 2. 29	宮崎市

2 会議出席

会 議 名	開 催 日	参 集 範 囲	場 所
【試験研究関係等】			
研究調整担当者会議(第1回)	5. 4. 25	県関係機関	リモート開催
農業技術推進会議本会議(第1回)	5. 5. 23	県関係機関	書面開催
試験研究機関長会議(第1回)	5. 9. 6	試験研究機関、県	前橋市
研究調整担当者会議(第2回)	5. 10. 11	県関係機関	リモート開催
農業技術推進会議本会議(第2回)	5. 11. 10	県関係機関	県庁
研究調整担当者会議(第3回)	6. 3. 5	県関係機関	リモート開催
令和5年度食肉安全推進連絡会議	6. 3. 7	県関係機関	食肉衛生検査所
試験研究機関長会議(第2回)	6. 3. 18	試験研究機関、県	前橋市
【酪農】			
群馬県学校農業クラブ連盟顧問会議	5. 4. 24	関係高校、県関係機関、関係団体	当 場
群馬県学校農業クラブ連盟家畜審査協議会審査員打合せ会議	5. 5. 30	関係高校、県関係機関、関係団体	当 場
群馬県畜産協会事業推進会議	5. 6. 12	県関係機関、関係団体、生産者代表	J Aビル
群馬県乳牛改良協会通常総会	5. 8. 1	県関係機関、関係団体、生産者代表	J Aビル
乳用牛改良推進ブロック会議	5. 9. 5	県関係機関、関係団体	東京都
乳用牛群検定推進ブロック会議	5. 9. 6	県関係機関、関係団体	東京都
県産生乳の安全性確保推進会議	5. 9. 22	県関係機関、関係団体、生産者代表	県庁
乳質改善共励会担当者会議	5. 12. 5	県関係機関、関係団体	書面開催
乳質改善共励会審査委員会	6. 1. 29	県関係機関、関係団体	書面開催
乳質改善共励会現地審査会	6. 2. 9	県関係機関、関係団体	吾妻・東部地域
乳質改善共励会表彰式	6. 2. 14	県関係機関、関係団体、生産者	J Aビル
酪農経営支援総合対策事業現地勉強会	6. 2. 14	県関係機関、関係団体	東京都
乳用牛群検定推進ブロック会議	6. 2. 15	県関係機関、関係団体	東京都
乳牛生産振興委員会	6. 2. 26	県関係機関、関係団体、生産者	J Aビル
県産生乳の安全性確保推進会議	6. 3. 22	県関係機関、関係団体、生産者	県庁
【肉牛】			
群馬県学校農業クラブ連盟顧問会議	5. 4. 24	関係高校、関係団体、県	当 場
第13回全国和牛能力共進会第1回出品対策運営委員会	5. 4. 19	関係団体、県	当 場
令和5年度全国和牛登録協会東部地区支部長・審査委員合同協議会	5. 5. 18	関係団体、県	渋川市
群馬県学校農業クラブ連盟家畜審査協議会審査員打合せ会議	5. 5. 30	関係高校、関係団体、県	当 場
第13回全国和牛能力共進会第2回出品対策運営委員会	5. 5. 31	関係団体、県	当 場
群馬県和牛改良組合連絡協議会第32回通常総会	5. 6. 27	生産者、関係団体、県	J Aビル
第13回全国和牛能力共進会第3回出品対策運営委員会	5. 7. 10	関係団体、県	当 場
令和5年度群馬県JA繁殖和牛部連絡協議会第38回通常総会	5. 7. 13	生産者、関係団体、県	あぐり朝日庵
令和5年度群馬県JA肉牛肥育部連絡協議会通常総会	5. 7. 19	関係団体、県	J Aビル

会 議 名	開 催 日	参 集 範 囲	場 所
第 13 回全国和牛能力共進会第 1 回群馬県出品対策協議会	5. 8. 8	関係団体、県	J Aビル
第 13 回全国和牛能力共進会第 4 回出品対策運営委員会	5. 8. 21	関係団体、県	当 場
第 13 回全国和牛能力共進会第 1 回群馬県出品対策部会	5. 9. 6	関係団体、市町村、県	J Aビル
和牛の肥育期間の短縮・出荷月齢の早期化に関する意見交換会	5. 9. 12	関係団体・会社、道府県	Web
第 13 回全国和牛能力共進会第 5 回出品対策運営委員会	5. 9. 19	関係団体、県	当 場
第 13 回全国和牛能力共進会群馬県出品対策部会第 1 回種牛班・肉牛班	5. 10. 2	生産者、関係団体、県	J Aビル
第 26 回関東東山肉用牛試験研究連絡会議	5. 10. 19	茨城、栃木、群馬、千葉、神奈川、山梨、長野、静岡、埼玉県肉用牛試験担当者	Web
第 13 回全国和牛能力共進会第 6 回出品対策運営委員会	5. 11. 17	関係団体、県	当 場
スーパー受精卵供給事業に係る打合せ会議	5. 12. 13	関係団体、県	当 場
令和 5 年度群馬県和牛改良組合連絡協議会業務推進会議	5. 12. 15	生産者、関係団体、県	J Aビル
第 13 回全国和牛能力共進会第 7 回出品対策運営委員会	5. 12. 26	関係団体、県	当 場
第 77 回登録協議会、第 13 回全国和牛能力共進会第 1 回全国連絡協議会	6. 1. 23	関係団体、道府県	京都府
和牛生産振興委員会	6. 1. 29	生産者、関係団体、県	J Aビル
第 13 回全国和牛能力共進会第 8 回出品対策運営委員会	6. 2. 1	関係団体、県	当 場
第 13 回全国和牛能力共進会群馬県出品対策部会第 2 回種牛班	6. 3. 26	生産者、関係団体、県	J Aビル
令和 6 年度生産振興対策事業優良繁殖雌牛導入推進委員会	6. 3. 26	関係団体、県	J Aビル
【養豚・緬山羊】			
第 29 回群馬県養豚協会通常総会	5. 6. 2	生産者、関係団体・会社、県関係機関	J Aビル
群馬県肉豚出荷調整協議会	5. 8. 10	生産者、関係団体、県関係機関	県庁
緬山羊生産振興委員会	5. 10. 3	生産者、関係団体、県関係機関	J Aビル
国産純粋種豚改良協議会令和 5 年度総会	5. 12. 26	生産者、関係団体・会社、国・県、大学	Web
種豚生産振興委員会	6. 2. 29	生産者、関係団体、県関係機関	J Aビル
【養鶏・養蜂】			
第 32 回群馬県地鶏生産普及促進協議会及び第 9 回総会	5. 7. 11	協議会員	県庁
第 33 回群馬県地鶏生産普及促進協議会	5. 11. 14	協議会員	県庁
令和 6 年度経済能力検定鶏種選定会議	5. 2. 8	生産者、関係団体、県関係機関	J Aビル
第 34 回群馬県地鶏生産普及促進協議会	5. 3. 6	協議会員	県庁

会 議 名	開 催 日	参 集 範 囲	場 所
【飼料・環境】			
畜産環境保全対策推進事業担当者会議	5. 5. 22	県関係機関	県庁
群馬県作物病害虫・雑草防除指針作物別検討会議	5. 11. 10	県関係機関、関係団体	県庁
飼料作物等高能力新品種選定会議 (関東・東海・近畿ブロック)	5. 12. 13	都府県関係者、種苗メーカー	日本草地畜産 種子協会
群馬県指定農薬運営委員会幹事会	5. 12. 18	関係機関	県庁
群馬県指定農薬運営委員会	6. 1. 18	県関係機関	書面開催
群馬県飼料増産推進協議会	6. 3. 22	県関係機関	書面開催
【繁殖】			
第 13 回全国和牛能力共進会第 1 回出品対策運営委員会	5. 4. 19	関係団体、県	当 場
令和 5 年度導入牛選定会議	5. 5. 12	生産者、関係団体、県	渋川家畜市場
群馬東部和牛改良組合通常総会	5. 5. 24	生産者、関係団体、県	みどり市
第 13 回全国和牛能力共進会第 2 回出品対策運営委員会	5. 5. 31	関係団体、県	J A ビル
群馬県家畜人工授精師協会通常総会	5. 6. 28	技術者、関係団体、県	J A ビル
第 13 回全国和牛能力共進会第 3 回出品対策運営委員会	5. 7. 10	関係団体、県	当 場
JA 前橋市和牛改良組合通常総会	5. 7. 21	生産者、関係団体、県	前橋市
平準化事業推進会議	5. 8. 9	関係団体、県	J A ビル
第 13 回全国和牛能力共進会第 4 回出品対策運営委員会	5. 8. 21	関係団体、県	当 場
第 13 回全国和牛能力共進会第 1 回群馬県出品対策部会	5. 9. 6	関係団体、市町村、県	J A ビル
第 13 回全国和牛能力共進会第 5 回出品対策運営委員会	5. 9. 19	関係団体、県	当 場
第 13 回全国和牛能力共進会群馬県出品対策部会第 1 回種牛班・肉牛班	5. 10. 2	生産者、関係団体、県	J A ビル
第 13 回全国和牛能力共進会第 6 回出品対策運営委員会	5. 11. 17	関係団体、県	当 場
スーパー受精卵供給事業に係る打合せ会議	5. 12. 13	関係団体、県	当 場
令和 5 年度群馬県和牛改良組合連絡協議会業務推進会議	5. 12. 15	生産者、関係団体、県	J A ビル
第 13 回全国和牛能力共進会第 7 回出品対策運営委員会	5. 12. 26	関係団体、県	当 場
第 13 回全国和牛能力共進会第 8 回出品対策運営委員会	6. 2. 1	関係団体、県	当 場
第 13 回全国和牛能力共進会群馬県出品対策部会第 2 回種牛班	6. 3. 26	生産者、関係団体、県	J A ビル
令和 6 年度生産振興対策事業優良繁殖雌牛導入推進委員会	6. 3. 26	関係団体、県	J A ビル

3 技術相談・依頼診断及び審査

部 門	技術相談	依頼診断	審 査	計
酪 農	5 件	0 件	0 件	5 件
肉 牛	12	0	20	32
繁殖技術	35	6	0	41
養 豚	3	0	0	3
養 鶏	10	0	0	10
緬・山羊	2	0	1	3
養 蜂	0	0	1	1
畜産環境	0	0	0	0
飼料作物	0	0	0	0
計	67	6	22	95

条例に基づく検査は検査実績の項に記載

4 視察及び見学

(1) 国内

区 分	件 数	人 員
酪農係	5 件	30 人
繁殖技術係	12	84
計	17	114

(2) 国外

区 分	国 名	人 員	期 間

5 研究生・研修生

(1) 農業関係試験研究機関技術研修員

氏 名	研 修 内 容	研 修 期 間	所 属
兼島 信人	牛の繁殖技術の習得等	令和5年4月17日～6月17日	生産者
角田 駿斗	〃	令和5年5月20日～12月20日	生産者

(2) 実務実習生（インターンシップ）

氏 名	研 修 科 目	研 修 期 間	所 属
小林 知夏	家畜の飼養管理、自給飼料生産、畜産試験場の業務	R5.8.28～R5.9.1	明治大学農学研究科

VII 庶務及び施設整備

1 職 員

(1) 職員名簿

職 名	氏 名	職 名	氏 名
場 長 (技)	清水 養一	肉牛係 係 長 (技)	椿 由江
次 長 (事：総務係長)	飯塚 悦子	主 査 (技)	奥木 庸夫
研究調整官 (技)	羽鳥 恭章	主 任 (技)	鹿沼 由香理
		技 師	長島 妃奈
総務係 主 幹 (事)	永井 紀子	繁殖技術係 主席研究員(技：繁殖技術係長)	加藤 聡
副主幹 (事)	山崎 久美子	独立研究員 (技)	青木 寛道
主幹専門員 (事)	神谷 司	主 任 (技)	六本木 梨果
		技 師	下田 歩夢
		主幹専門員 (事)	梅村 保
飼料環境係 主任研究員 (技：飼料環境係長)	関上 直幸	養豚係 主任研究員 (技：養豚係長)	青木 圭
主 査 (技)	間庭 進	管理長代理 (技)	佐藤 勝
技 師	今西 耕平	主 査 (技)	深津 徳人
技 師	住吉 帆南	主 任 (技)	湯浅 泰子
技 師	藤澤 望	主 任 (技)	宮澤 浩太
技 師	吉田 健人	任期付職員	小見 邦雄
副主幹専門員 (技)	新井 英雄		(9.4～)
酪農係 主任研究員 (技：酪農係長)	櫛渕 隆之	養鶏係 主任研究員 (技：養鶏係長)	後藤 美津夫
主 査 (技)	樋高 準	主査 (技)	住吉 英雄
独立研究員 (技)	都丸 友久	主査 (技)	木暮 真史
技 師	諏訪 久仁子	技 師	五十嵐 大樹
技 師	高橋 伸明		
技 師	富沢 大輝		
専門員 (技)	金井 福次		

(2) 令和4年度末転出職員

氏 名	旧 職 名	新 所 属
浅田 勉	研究調整官（技）	浅間家畜育成牧場 場長（技）
森村 りか子	総務係 主幹（事）	会計管理課総務・決算係 主幹（事）
佐藤 拓実	飼料環境係 独立研究員（技）	浅間家畜育成牧場 飼料係長（技）
高野 武彦	飼料環境係 技師	畜産課畜産振興係 技師
永井 武史	繁殖技術係 主任（技）	浅間家畜育成牧場家畜係 主任（技）

(3) 令和5年度転入職員

氏 名	新 職 名	旧 所 属
清水 養一	場長（技）	農政課 研究調整主監（技）
羽鳥 恭章	研究調整官（技）	利根沼田農業事務所農業振興課 次長（技）
永井 紀子	総務係 主幹（事）	文書館公文書係 主幹（事）
神谷 司	総務係 主幹専門員（事）	西部農業事務所 所長（事）
青木 寛道	繁殖技術係 独立研究員（技）	西部農業事務所普及指導課農畜産指導係 副主幹（技）
梅村 保	繁殖技術係 主幹専門員（技）	畜産課家畜防疫対策室 室長（技）

(4) 令和5年度採用職員

技師 今西 耕平
 技師 吉田 健人
 技師 長島 妃奈
 任期付職員 小見 邦雄

(5) 令和5年度退職者

研究調整官（技） 羽鳥 恭章
 主任研究員（技：飼料環境係長） 関上 直幸
 主幹専門員（事） 神谷 司
 任期付職員 小見 邦雄

2 収入及び決算

(1) 収入

科 目 (款項目節)	調 定 額	収入済額	収入未済額
○ 一般会計	円	円	円
8 使用料及び手数料	199,445	199,445	0
1 使用料	199,445	199,445	0
8 農政使用料	199,445	199,445	0
1 農政関係使用料	199,445	199,445	0
1 土地使用料	199,445	199,445	0
10 財産収入	170,896,730	170,896,730	0
2 財産売払収入	170,896,730	170,896,730	0
2 物品売払収入	26,886,915	26,886,915	0
1 不用品売払代金	26,886,915	26,886,915	0
2 農政課所属	26,886,915	26,886,915	0
3 生産物売払収入	144,009,815	144,009,815	0
2 農政費所属	144,009,815	144,009,815	0
4 畜産試験場所属	144,009,815	144,009,815	0
14 諸収入	10,509,239	10,509,239	0
4 受託事業収入	7,794,800	7,794,800	0
4 農政費受託事業収入	7,794,800	7,794,800	0
1 農業試験受託事業収入	7,794,800	7,794,800	0
1 農業試験受託事業収入	7,794,800	7,794,800	0
6 雑入	2,714,439	2,714,439	0
5 雑入	2,714,439	2,714,439	0
1 雑入	2,714,439	2,714,439	0
37 雑入 (農政課)	2,714,439	2,714,439	0
合 計	181,605,414	181,605,414	0

(2) 決算

科 目 (款項目節)	予算配布額	支 出 額	残 額
○ 一般会計	円	円	円
3 総務費	28,910,901	28,910,901	0
1 総務管理費	28,910,901	28,910,901	0
2 人事管理費	24,888,630	24,888,630	0
2 給料	9,298,529	9,298,529	0
3 職員手当	12,524,834	12,524,834	0
4 共済費	3,065,267	3,065,267	0
4 財産管理費	3,426,500	3,426,500	0
11 役務費	154,000	154,000	0
12 委託料	596,200	596,200	0
14 工事請負費	2,676,300	2,676,300	0
5 総務事務管理費	595,771	595,771	0
8 旅費	1,030	1,030	0
11 役務費	8,800	8,800	0
12 委託料	585,941	585,941	0
9 農政費	522,820,315	522,820,315	0
1 農政費	510,292,331	510,292,331	0
1 農政総務費	10,336,737	10,336,737	0
3 職員手当	103,800	103,800	0
8 旅費	330,687	330,687	0
10-2 その他需用費	3,534,850	3,534,850	0
12 委託料	1,573,000	1,573,000	0
14 工事請負費	825,000	825,000	0
17 備品購入費	3,953,400	3,953,400	0
18 負担金補助及び交付金	16,000	16,000	0
2 農政企画費	101,375	101,375	0
7 報償費	24,600	24,600	0
8 旅費	76,775	76,775	0
8 畜産試験場費	499,854,219	499,854,219	0
1 報酬	34,619,242	34,619,242	0
2 給料	133,284,815	133,284,815	0
3 職員手当	79,600,025	79,600,025	0
4 共済費	46,542,453	46,542,453	0
(共済組合負担金)	44,057,252	44,057,252	0
(社会保険料)	2,485,201	2,485,201	0
8 旅費	2,953,142	2,953,142	0
10-2 その他需用費	173,422,692	173,422,692	0
11 役務費	13,209,882	13,209,882	0
12 委託料	5,656,200	5,656,200	0
13 使用料及び賃借料	1,443,168	1,443,168	0
14 工事請負費	5,868,000	5,868,000	0
15 原材料費	254,100	254,100	0
17 備品購入費	1,092,080	1,092,080	0
18 負担金補助及び交付金	1,580,020	1,580,020	0
26 公課費	328,400	328,400	0
6 畜産業費	12,527,984	12,527,984	0
2 企画経営費	251,120	251,120	0
8 旅費	21,120	21,120	0
10-2 その他需用費	230,000	230,000	0
3 飼料牧野費	70,000	70,000	0
10-2 その他需用費	70,000	70,000	0
4 畜産振興費	12,088,304	12,088,304	0
8 旅費	78,000	78,000	0

科 目 (款項目節)	予算配布額	支 出 額	残 額
10-2 その他需用費	11,613,628	11,613,628	0
11 役務費	396,676	396,676	0
5 家畜衛生費	109,440	109,440	0
10-2 その他需用費	59,440	59,440	0
18 負担金補助及び交付金	50,000	50,000	0
7 浅間家畜育成牧場費	9,120	9,120	0
8 旅費	9,120	9,120	0
11 県土整備費	1,650,000	1,650,000	0
9 建築費	1,650,000	1,650,000	0
1 建築総務費	1,650,000	1,650,000	0
3 建築営繕調整費	1,650,000	1,650,000	0
14 工事請負費	1,650,000	1,650,000	0
合 計	553,381,216	553,381,216	0

3 土地及び建物

区 分	建 物		土 地			
	棟 数	延 面 積	敷 地	畑	そ の 他	計
本 場	62	m ² 19,915.66	m ² 248,779.01	m ² 418,779.09	m ² 43,298.11	m ² 710,856.21
旧センター (内借地)	11	2,750.6			628,116.00 (136,250.00)	628,116.00 (136,250.00)
計 (内借地)	73	22,666.26	248,779.01	418,779.09	671,414.11 (136,250.00)	1,338,972.21 (136,250.00)

4 施設整備及び主要備品

(1) 施設整備 (30万円以上)

工 事 場 所	工 事 名	金 額
繁殖育成牛舎	車両消毒装置修繕	944
	フェンス改修工事	2,343
	パドック柵修繕工事	1,650
搾乳牛舎	搾乳ロボットBCSカメラ通信障害修理	385
	TMRミキサーベルトコンベアベルト交換	1,560
堆肥発酵舎	屋根山棟補修工事	704
飼料畑	飼料畑排水対策工事	5,868
	飼料畑排水対策追加工事	825
旧吾妻肉牛繁殖センター	側溝・浄化槽撤去工事	832
	国有林内給水管撤去工事	1,722

(2) 主要備品（５０万円以上）

品 名	規 格	取得年月日	供用係	取得価格 千円
超低温フリーザー	CLN-42U	5. 7. 26	酪農係	1, 600
小型運搬車ライガー	ELL803UPWS	5. 11. 14	肉牛係	1, 650
ラボ用オートクレーブ	LBS-325	6. 3. 1	繁殖技術係	543

Ⅷ そ の 他

1 気象表

月	旬	気温 (°C)									雨 量			日 射			地温 (°C)								
		平均気温			最高気温			最低気温			(mm)			(KW/m ²)		(%)	地温1 (30cm)			地温2 (15cm)					
		本年	平年	平年比	本年	平年	平年比	本年	平年	平年比	本年	平年	平年比	本年	平年	平年比	本年	平年	平年比	本年	平年	平年比	本年	平年	平年比
4月	上	12.5	10.0	2.5	18.0	15.6	2.4	7.3	5.0	2.3	1.5	16.8	-15.3	44.6	47.2	94.4	-	10.1	-	13.4	10.4	3.1	-	-	-
	中	13.9	11.7	2.2	19.8	17.0	2.7	8.7	6.8	1.8	13.5	36.2	-22.7	40.5	44.1	91.8	13.5	11.1	2.4	13.8	11.6	2.2	13.5	11.1	2.4
	下	13.7	13.3	0.4	19.3	18.7	0.6	8.9	8.4	0.5	11.5	23.0	-11.5	44.2	45.5	97.1	14.2	12.3	1.9	14.6	13.0	1.7	14.2	12.3	1.9
	平均	13.4	11.7	1.7	19.0	17.1	1.9	8.3	6.7	1.6	8.8	25.3	-16.5	43.1	45.6	94.5	13.9	11.2	2.7	14.0	11.7	2.3	13.9	11.2	2.7
5月	上	14.7	16.0	-1.3	22.3	21.7	0.6	8.9	10.6	-1.7	12.0	23.5	-11.5	45.8	46.5	98.6	14.5	14.7	-0.2	15.1	15.5	-0.4	14.5	14.7	-0.2
	中	16.9	17.8	-0.9	22.8	22.5	0.3	12.1	13.4	-1.3	18.0	23.8	-5.8	29.9	37.6	79.4	15.5	15.8	-0.3	16.2	16.8	-0.5	15.5	15.8	-0.3
	下	18.9	19.5	-0.6	25.5	24.5	0.9	13.6	14.7	-1.1	76.0	37.3	38.7	41.1	46.7	88.0	17.0	17.3	-0.3	18.1	18.4	-0.3	17.0	17.3	-0.3
	平均	16.8	17.7	-0.9	23.5	22.9	0.6	11.5	12.9	-1.4	35.3	28.2	7.1	38.9	43.6	89.3	15.7	15.9	-0.3	16.5	16.9	-0.4	15.7	15.9	-0.3
6月	上	17.1	19.6	-2.5	21.6	24.1	-2.5	13.4	15.4	-2.0	64.0	31.2	32.8	29.4	42.1	69.9	17.7	18.5	-0.8	18.2	19.5	-1.3	17.7	18.5	-0.8
	中	19.1	19.7	-0.5	23.5	24.0	-0.5	15.3	15.7	-0.4	10.5	52.4	-41.9	29.8	36.1	82.4	17.9	19.0	-1.1	18.9	19.8	-0.9	19.1	19.7	-0.5
	下	26.0	23.1	2.8	30.8	27.3	3.6	21.8	19.5	2.3	8.5	82.7	-74.2	41.3	33.8	121.9	21.2	20.2	1.1	23.5	21.3	2.2	26.0	23.1	2.8
	平均	20.7	20.8	-0.1	25.3	25.1	0.2	16.8	16.9	0.0	27.7	55.4	-27.8	33.5	37.3	89.6	18.9	19.2	-0.3	20.2	20.2	0.0	20.7	20.8	-0.1
7月	上	30.4	23.4	7.0	34.7	27.7	7.0	26.6	19.9	6.7	33.5	59.9	-26.4	34.7	29.9	116.1	22.6	21.2	1.4	24.1	22.3	1.8	30.4	23.4	7.0
	中	32.2	25.1	7.2	36.9	29.7	7.1	28.1	21.2	6.9	11.5	57.9	-46.4	36.4	36.1	100.7	23.9	22.3	1.6	25.4	23.5	2.0	32.2	25.1	7.2
	下	33.1	25.1	8.0	38.7	29.6	9.2	27.7	21.5	6.3	9.0	96.3	-87.3	51.3	40.0	128.2	24.6	23.3	1.3	25.9	24.3	1.6	33.1	25.1	8.0
	平均	31.9	24.5	7.4	36.8	29.0	7.8	27.5	20.9	6.6	18.0	71.4	-53.4	40.8	35.3	115.4	23.7	22.3	1.4	25.1	23.3	1.8	31.9	24.5	7.4
8月	上	30.0	26.3	3.7	34.9	31.1	3.8	26.3	22.5	3.9	18.0	38.6	-20.6	33.0	42.7	77.3	25.3	24.6	0.8	26.4	25.6	0.8	30.0	26.3	3.7
	中	29.3	26.0	3.3	34.1	30.6	3.4	25.9	22.5	3.4	39.5	72.7	-33.2	37.5	34.6	108.3	25.5	24.9	0.6	26.6	25.6	0.9	29.3	26.0	3.3
	下	30.5	25.5	5.1	37.1	30.1	7.0	26.0	21.7	4.2	6.0	73.3	-67.3	43.9	39.4	111.5	26.3	24.7	1.6	27.5	25.2	2.3	30.5	25.5	5.1
	平均	29.9	25.9	4.0	35.4	30.6	4.7	26.1	22.2	3.8	21.2	61.5	-40.3	38.1	38.9	98.0	25.7	24.7	1.0	26.8	25.5	1.3	29.9	25.9	4.0
9月	上	30.4	24.3	6.1	37.1	29.0	8.0	25.6	20.7	4.9	62.0	67.8	-5.8	31.7	29.5	107.5	25.8	24.0	1.8	26.2	24.3	1.9	30.4	24.3	6.1
	中	30.2	22.9	7.2	38.2	27.8	10.4	25.6	19.1	6.5	56.5	47.3	9.2	42.1	29.6	142.2	25.8	23.6	2.2	26.7	23.7	3.0	30.2	22.9	7.2
	下	25.2	19.2	6.0	32.1	23.5	8.6	21.0	15.7	5.3	70.5	46.6	23.9	26.4	30.5	86.8	24.3	22.2	2.1	24.0	21.9	2.1	25.2	19.2	6.0
	平均	28.6	22.2	6.4	35.8	26.8	9.0	24.1	18.5	5.6	63.0	53.9	9.1	33.4	29.8	111.9	25.3	23.3	2.0	25.6	23.3	2.3	28.6	22.2	6.4
10月	上	17.2	18.4	-1.2	21.6	22.7	-1.1	13.9	14.9	-0.9	50.0	44.0	6.0	23.0	29.8	77.1	21.7	22.6	-0.9	20.3	20.7	-0.4	17.2	18.4	-1.2
	中	16.8	15.6	1.1	22.3	19.9	2.5	12.1	12.1	0.0	23.5	48.0	-24.5	38.4	22.7	169.2	19.4	19.8	-0.3	18.8	19.0	-0.2	16.8	15.6	1.1
	下	15.2	13.4	1.8	20.7	17.5	3.2	10.5	9.9	0.6	4.0	42.9	-38.9	39.0	31.4	124.1	18.7	17.9	0.9	18.1	17.0	1.1	15.2	13.4	1.8
	平均	16.4	15.8	0.6	21.5	20.0	1.5	12.2	12.3	-0.1	25.8	45.0	-19.1	33.4	28.0	119.6	19.9	20.1	-0.1	19.0	18.9	0.1	16.4	15.8	0.6
11月	上	16.6	12.0	4.6	21.4	16.8	4.6	13.1	8.0	5.0	9.5	10.8	-1.3	22.1	30.9	71.5	18.2	16.4	1.8	0.4	15.6	-15.1	16.6	12.0	4.6
	中	9.6	10.0	-0.4	14.1	14.5	-0.4	6.1	6.2	-0.1	19.0	15.3	3.8	23.2	27.6	84.2	15.4	15.1	0.4	0.5	13.9	-13.5	9.6	10.0	-0.4
	下	9.4	8.6	0.9	15.1	13.0	2.1	4.7	4.8	-0.2	0.0	15.7	-15.7	25.7	23.0	111.9	13.7	13.5	0.2	0.5	12.3	-11.7	9.4	8.6	0.9
	平均	11.9	10.2	1.7	16.9	14.8	2.1	7.9	6.4	1.6	9.5	13.9	-4.4	23.7	27.2	87.2	15.8	15.0	0.8	0.5	13.9	-13.4	11.9	10.2	1.7
12月	上	8.5	6.5	2.0	13.7	11.1	2.6	4.2	2.8	1.4	0.0	9.5	-9.5	22.3	22.3	100.3	12.0	12.0	0.0	10.6	10.7	-0.2	8.5	6.5	2.0
	中	8.7	4.6	4.2	15.8	9.1	6.7	4.4	0.9	3.5	10.5	8.3	2.2	16.4	23.8	68.9	11.7	10.5	1.2	10.5	8.9	1.5	8.7	4.6	4.2
	下	5.7	3.6	2.1	13.8	8.1	5.7	0.6	0.0	0.7	3.0	7.5	-4.5	24.1	25.4	94.7	9.4	9.1	0.3	7.7	7.6	0.1	5.7	3.6	2.1
	平均	7.7	4.9	2.7	14.4	9.4	5.0	3.1	1.2	1.9	4.5	8.4	-3.9	20.9	23.8	87.8	11.0	10.5	0.5	9.6	9.1	0.5	7.7	4.9	2.7
1月	上	6.1	2.5	3.5	13.8	7.1	6.8	0.6	-0.9	1.5	2.5	1.7	0.8	24.3	25.1	96.6	8.8	8.0	0.9	7.5	6.5	0.9	6.1	2.5	3.5
	中	4.7	2.2	2.5	11.9	6.8	5.1	-0.1	-1.3	1.2	2.5	2.9	-0.4	17.6	24.3	72.6	7.6	7.2	0.4	6.2	6.2	0.1	4.7	2.2	2.5
	下	5.5	2.3	3.2	12.9	7.0	6.0	0.7	-1.4	2.2	22.5	12.7	9.8	28.9	30.4	95.0	7.4	6.8	0.5	6.2	5.7	0.5	5.5	2.3	3.2
	平均	5.4	2.4	3.1	12.9	7.0	5.9	0.4	-1.2	1.6	9.2	5.8	3.4	23.6	26.6	88.7	7.9	7.3	0.6	6.6	6.1	0.5	5.4	2.4	3.1
2月	上	4.5	2.4	2.1	12.2	7.2	5.0	-0.4	-1.5	1.1	1.6	0.5	1.1	2.8	3.2	90.4	7.1	6.7	0.4	5.9	5.7	0.2	4.5	2.4	2.1
	中	9.6	2.9	6.8	17.1	7.6	9.5	4.2	-1.0	5.2	0.3	0.7	-0.5	3.2	3.5	91.9	7.8	6.7	1.1	7.8	5.9	1.9	9.6	2.9	6.8
	下	4.6	4.2	0.3	9.5	9.3	0.2	1.4	0.1	1.3	3.2	1.0	2.2	2.3	4.0	58.1	8.3	7.1	1.2	7.4	6.6	0.8	4.6	4.2	0.3
	平均	6.2	3.2	3.1	12.9	8.0	4.9	1.7	-0.8	2.5	1.7	0.7	0.9	2.8	3.5	78.6	7.7	6.8	0.9	7.0	6.1	1.0	6.2	3.2	3.1
3月	上	5.2	5.6	-0.4	12.5	10.8	1.6	0.4	1.5	-1.2	21.5	24.9	-3.4	37.7	37.9	99.4	7.4	7.8	-0.4	6.6	7.6	-1.0	5.2	5.6	-0.4
	中	8.1	7.5	0.6	16.6	13.0	3.6	2.3	2.6	-0.4	3.5	13.0	-9.5	39.6	42.4	93.4	8.1	8.5	-0.4	8.0	8.4	-0.4	8.1	7.5	0.6
	下	9.4	8.0	1.3	17.9	13.2	4.7	3.8	3.4	0.4	0.0	20.4	-20.4	25.5	44.9	56.7	8.9	9.4	-0.5	8.9	9.5	-0.5	9.4	8.0	1.3
	平均	7.5	7.0	0.5	15.6	12.4	3.3	2.1	2.5	-0.4	8.3	19.4	-11.1	34.2	41.7	82.0	8.1	8.6	-0.4	7.8	8.5	-0.7	7.5	7.0	0.5

畜産試験場（前橋市富士見町小暮・標高 350m）

※ 4 月上旬の地温は機器のエラーにより欠測。

※ 雨量の平均値欄は合計値を示す。また、雨量のデータについては参考値とする。

※ 平年値は 1964 年観測開始以来の平均を示す。

※ 日射量の平年値は、2017 年～2022 年度の 6 年間。

令和 5 年度群馬県畜産試験場業務年報

発 行 群 馬 県 畜 産 試 験 場

〒371-0103 群馬県前橋市富士見町小暮 2425

TEL 027 (288) 2222

FAX 027 (288) 2243

<https://www.pref.gunma.jp> (県庁トップページ)

この冊子の製作費用は一部あたり 1,012 円です